



保存版

県第4次地震被害想定

津波 ハザードマップ

沼津市

西浦地区 I

津波避難施設：3ヶ所
避難路：28路線

まず確認

- ☐ あなたのお住まいはどちらですか？
- ☐ 最寄りの津波避難施設を探しましょう

(例) 西14

※ 海岸部の津波高、陸域の浸水深及び到達時間は、県第4次地震被害想定における最大の津波想定を基にしています。

※1 津波の浸水深が30cm以上になると、人命に影響する恐れがあります。浸水深の目安及び危険度については裏面を参照して下さい。

※2 津波避難訓練対象区域とは、東日本大震災後の平成23年度に、沼津市でこれまで最も被害を受けた安政東海地震(1854年)の津波浸水域を含む単位自治会の区域を「津波避難訓練対象区域」と定め、津波対策や津波避難訓練に取り組む区域です。

平沢地区

久連地区

木負地区

凡例		
	陸域での津波の浸水深が30cmとなる時間	地震発生から10分
		地震発生から15分
西11	津波避難ビル番号(裏面参照)	
	津波避難ビル	受入可能人数1000人以上
		受入可能人数100人未満
	津波避難路	さらに上部へ避難可能 ※海拔は矢印先端付近
	西1 路線番号45m 海拔	行き止まり ※海拔は行き止まり付近
	津波避難訓練対象区域の境界 ※2	
	津波孤立予想地区用防災倉庫	
7.3m	海岸部の想定津波高	
1.9	海拔(m)	



■ 地震・津波から身を守るために

突発地震発生

まず身の安全を確保

津波の危険

津波から

『少しでも早く! 少しでも高く!』

避難場所 高台 (避難路などで高台に避難)、津波避難ビル

避難するときの注意は?

1 我が身の安全を最優先

2 海と逆方向へ逃げる

3 車による避難は原則禁止

いつまで避難するの?

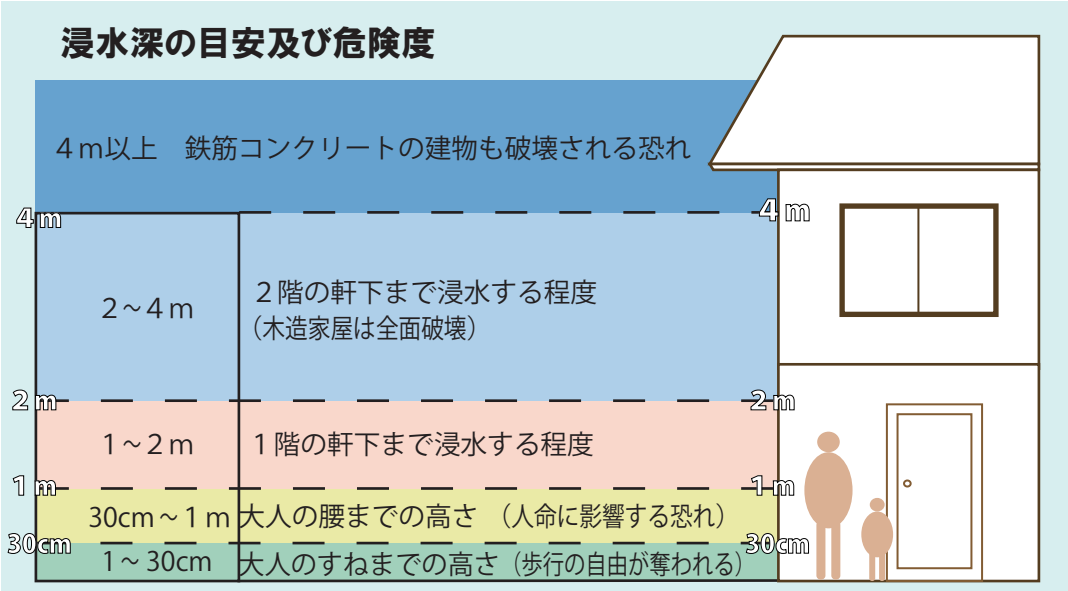
1 津波警報、注意報が解除されるまで避難場所にとどまる

2 波が引いてもすぐ戻らない

3 津波は第2波以降が最大の場合もある

■ ハザードマップの使い方①【浸水深の目安及び危険度】

このハザードマップは、地震で津波が発生したときに予測される浸水深を色別で表しています。浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場、学校がどの程度浸水するのか、またどの程度の危険があるのか確認して下さい。



■ ハザードマップの使い方②【避難経路を確認しよう】

☐ あなたのお住まいはどちらですか?

☐ 最寄りの津波避難施設を探しましょう

(例) 避難路: 西14

☐ 最寄りの津波避難施設までの避難経路を確認しましょう

避難経路を選ぶポイント

徒歩で避難することを前提に、避難経路を選びましょう

津波は河川をさかのぼってきます。河川を渡る、近くを通るのは避けましょう

地震で建物やブロック塀などが倒れても通行できる広い道を選びましょう

夜間、停電時でも安全に通行できる目印のある道路を選びましょう

☐ あなたの設定した避難経路を実際に歩いてみましょう

【気付いたこと】

【所要時間】

分

避難経路を歩く時のポイント

あなたのお住まいから津波避難施設までの時間を確認しましょう

河川やブロック塀など、避難する時に障害となるものがないか確認しましょう

避難施設にたどり着く前に浸水が始まってしまった場合のために、近くにある避難施設となりそうな建物(鉄筋コンクリート造で3階以上)も確認しましょう

☐ あなたのお住まい以外で、日頃よく訪れる場所(通勤通学先やスーパー等)からの避難経路も同じように考えてみましょう

■ 津波避難訓練対象区域の自治会

連合自治会	「津波避難訓練対象区域」の自治会
西浦地区	木負、久連、平沢

■ 津波避難ビル一覧

令和3年4月現在			
No.	施設名	建物階数	外階段
西 1	沼津市立旧西浦小学校	3	無
西 2	リヴァージュ西伊豆	3	無

※ 避難するための共有スペースが少ないビルや無人となるため避難できる時間帯が限られるビル等がありますので、訓練のときに確認しましょう。

保存版 沼津市危機管理課 055-934-4803